

## 事業者における児童発達支援自己評価結果（公表）

事業者名：ピュアの樹とみお

公表日：令和6年3月31日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9			
	②	職員の配置数は適切であるか	9			勤務体制及び、勤務状態一覧を作成し確認している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9			療育室内に段差はあるが、それを活かした活動を実施している。またスロープやステップ、クッション材を設置するなど安全面に配慮している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9			定期的なミーティングやケース会議において情報共有や振り返りを行い、個々のモニタリングについても職員全員で行っている。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9			
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9			ホームページで開示している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	6	2	実施していない
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9			行政通達の研修、関係間との合同研修、Web研修に参加したり、外部から講師を招いて研修を実施している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9			児発管がアセスメントを行い原案を作成し、個別支援計画作成担当者会議において、個々に関わる職員と検討、見直しを行った上で作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9			
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9			

適切な支援の提供	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9			
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9			プログラムの立案を職員全員で行い、一貫性のあるプログラムになるよう工夫し、作成している。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9			スモールステップで目標を達成するために、2週～1か月を通して一貫性のあるプログラムを作成している。(個々の達成度に応じて内容を変えている)
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	9			
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			療育を実施するリーダー、支援するサブで事前に打ち合わせを行い、進め方や役割について確認している。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9			勤務時間の兼ね合いで、当日の振り返りが難しい場合があるが、翌日には気になることなどは報告書、療育に当たった職員が記入した個人記録ファイルを確認するなどして共有に務めている。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			療育を担当した職員が個々の課題などについて個人記録ファイルに記入し、全員で共有し次の療育につなげている。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9			
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				該当者なし
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				該当者なし
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9			保護者、相談支援員から要請があれば情報共有を行っている。

携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②⑤	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	7		今後さらに連携を図ってきたい。
	②⑥	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9			
	②⑦	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		6	3	今後検討してきたい。
	②⑧	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	9			
	②⑨	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9			療育後に保護者へのフィードバックを行っている。また連絡帳等を利用して対応している。
	③⑩	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	9			保護者向けのイベントとして、ペアレントトレーニングや座談会、親子イベント等を実施し、家庭支援につなげている。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③①	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9			
	③②	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9			
	③③	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9			フィードバック時や連絡帳等を活用して対応している。気軽に相談してもらえるように、児童発達支援管理責任者が送迎時に受付に立つようにしている。
	③④	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9			座談会等で保護者が悩みや不安、情報共有できる場を設定している。
	③⑤	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9			
	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9			会報（ピュアの樹だより）、室内刑事、ホームページ、インスタグラムで情報を発信している。
	③⑦	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9			

	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		7	2	
非常時等の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	2	7		事業所内でマニュアルを共有している。今後は保護者との共有にも努めていく。
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9			毎月職員のみで避難訓練を行い、年数回避難訓練プログラムを設定し、利用児と行っている。
	④⑫	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	9			保護者からの報告を全職員で共有している。
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1	1	食事提供はないが、アセスメント時に聞き取り、プレゼントとしてお菓子を提供するイベント前に再確認している。
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9			ミーティング時に共有している。
	④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9			年1回事業所内で研修を実施し、毎月全職員がセルフチェックシートを記入し振り返りを行っている。
	④⑯	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9			身体拘束を行うことはないが、必要と判断する場面については、職員間で共有し、保護者への説明、記録を行い対応する。